



「気持ちと言葉をつなぎましょう。」～“あのね、あのね”～

新年度が始まり、三週間が経ちました。今年の新入園児の子どもたちは、入園式当日から、本当に落ち着いていて、先生のお話や手遊びなどを、どの子もクラス一緒に楽しむ姿が見られ、本当に驚きました。しかし、四月も終わりになると、一生懸命頑張って遊びや活動に参加していた緊張感がほぐれて、そして疲れも出てきたのか、降園時間になると、目に涙をためて園バス乗車を待っている何人かの子どもの姿がありました。

「早くお母さんに会いたいなあ。」「ちょっとしんどくなってきたなあ。」そんな気持ちが表情に溢れているのですが、それを口に出すのも我慢している子もいます。こんな時は、子どもに「がんばって!!」とか「えらい、えらい!!」とかの励ましを大人は言ってしまいかつですが、そういう時は、出来る限り子どもの心情を思いやつて、「ちょっと、しんどくなってきたねえ。早く帰りたいねえ。」と、出来るだけ子どもの気持ちを言葉にして、そして可能な限り子どもの傍にいてやるように、教職員で対応しています。

そうすると、子どもは自分から「あのね、あのね・・・」と口ごもりながらも、なんとか自分の気持ちを言葉にしようとするようになります。この幼児期の「あのね、あのね」がすごく大切な言葉だと思っています。

「あのね、あのね」は、なんとか自分の気持ちや、思っている事、知っていることを、言葉に置き換えるようと、頭の中の回路をフルに使っている瞬間なのです。子どもは、大人や周りから聞いた言葉の記憶を手繰り寄せて、一番自分の気持ちに会う言葉を使おうとしているのです。

こういう時は、大人は子どもから出る正直な言葉を待ってやりましょう。そして、子どもの気持ちを推し量って、言葉を添えてやりましょう。うまく言えなくても、「よう言えたね」と大いに褒めてやりたいものです。

この瞬間、それまで子どもがどんな言葉を聞いてきたのか、によって表現が変わってきます。もし、その言葉が「ヤバい・エモい・エグい」といった、今流行りのぶつ切りの言葉でしかなかったとしたら・・・。子どもの感情表現は大変貧しいものになってしまい、デリケートな気持ちや、本当に伝えたい気持ちも十分伝えきれなくなるのではないかでしょうか。私は、若者や大人が常々何事にも「ヤバい」を乱発する状況は、以前から本当に危ないと思っています。（「ヤバい」と違う、他のいろいろな言葉で言ってみてほしいのです）

実は人は、乳幼児期から大人や周りからたくさん豊かな言葉を聞き、いろいろな会話をし、様々な絵本も含めて文書に接することが乏しいと、やがて微妙な感情表現がコントロールできなくなり、人の気持ちも読めなくなり、鬱々と自分の気持ちをため込んでしまう、そんな人生に陥る危険性があると言われています。

このことがなんと、先日の4月16日のNHK番組「クローズアップ現代」で、特集『“ヤバい・エグい”は危険!? 注目される感情リテラシー』でも取り上げられました。闇バイトに気軽に応じ、何の抵抗もなく重大犯罪に加担する若者のほとんどが、幼少期から感情表現が乏しく、自分の感情を表に出すことが出来ないままの生活が続いて、「言っても無駄」とあきらめているのです。「気持ちいい」とか「うざい」という二つの言葉しか知らないようなケースが多いというのです。

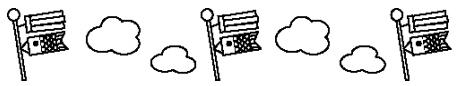
自分や他人の感情、気持ちを理解したり、表現したり調整する能力を「感情リテラシー」と呼ぶのですが、これは、乳幼児期から育していくべき大切な力ですが、これが身につかない、大人になって簡単に犯罪に陥る危険性があり、また番組では、大阪市内のある小学校の校内暴力の増加の事例と、その対応事例の紹介があり、私は正直、小学校での校内暴力の実情と、幼児期に「気持ちを表すことば」のトレーニングを受けなかった場合の深刻な事例を見て大変驚き、ショックを覚えました。

「いやな気持ち」「かなしい気持ち」、自分の感情を言葉にして相手に伝える一年生の取り組みをされている小学校の先生の姿には頭が下がりましたが、家庭や園での乳幼児教育の在り方が問われていると痛感しました。

（※この番組の内容は、NHKのWebサイトでもご覧いただけます。是非、たくさんの方に見ていただきたいと思っています。）

問われているのは、大人が意識して自身の言葉の世界を豊かにすること、子どもとの日常の会話を大切にすること、そして何より、幼い子たちの「あのね、あのね」を優しく受け入れていくことから始めたいと思うのです。

園長・今川 公平



5月の行事予定



※5/3(土)～5/6(火) 幼稚園はお休みとなります。

7(水) 衣替え 下記および先日配布した「衣替えについて」をご確認ください。
同日 新入園児の預かり保育受入れ開始

12(月)、13(火) 午前保育／午後から1学期個人懇談会 詳細は別紙参照。
※預かり保育利用は、個人懇談に参加しない日のみ、預かり保育利用可能です。

21(水) 年中組 春の遠足
同日 年少組 園内で遠足ごっこ 年中組・年少組はお弁当持参

26(月) 年長組 春の遠足 年長組はお弁当持参

※【年少組の遠足について】園内の環境を利用して、保育時間内に「遠足ごっこ」を行います。登降園はいつも通りです。「遠足ごっこ」の詳細は、別途お知らせいたします。

※【年中・年長組の遠足について】

＜行先＞年中組→樺原市昆虫館 / 年長組→神戸どうぶつ王国 ※観光バス使用
現在、スケジュールを調整しておりますが、行先と帰着時間の関係で、昨年秋の遠足同様、幼稚園までお迎えに来ていただくこととなります。 詳細は、決まり次第お知らせ致します。

※下旬 年長組・年中組 身体計測

制服、靴下、シャツ等には必ず名前を記入のこと。また女の子は身長を計測しやすいように、ヘアースタイルは考慮して下さい。※年少組は6月上旬に身体計測を行います。

※下旬～6月中旬頃 防犯訓練



お知らせ



◎着替えについて～幼稚園でおもしりをしてしまった場合や、服が汚れたりした場合、特に年少さんは毎日お持ちいただいているお着替えを着用しております。しかし、それが足りなくなった時や年長・年中さんなどは幼稚園の貸し出し用の物を着用して降園します。その際は、必ず洗濯し後日お忘れのないよう返却してください。

◎衣替えについて～5月7日より衣替えとなり、パイル帽子、夏の制服、ソックス(短)で登園となります。寒い時は夏の制服の上に冬の体操服を着て下さい。(新入園児は、私用の華美でないトレーナー着用可能) 詳しくは、先日配布した「衣替えについて」と園生活のこころえ(入園のこころえ) 参照。

◎水筒持参について～入園のこころえにも記載しているように、持参できる水筒は肩からかけられるコップ付きのタイプのみです。水筒の開け閉めの動作や、自分で飲む量を調節しながらコップにお茶を注ぐといった様を指導する為、本園ではコップタイプの水筒をお願いしております。上記の内容と、衛生面も考慮した上で、ストロータイプや直接口を付けて飲むタイプは禁止していますので、ご注意ください。(2歳児クラスを除く) また、持参するお茶の量も季節によって調整していただきますようお願い致します。